



できごと

yoshinogawacity



「吉野川市国際交流協会」が令和3年度「とくしまユニバーサルデザインによるまちづくり賞」を受賞

吉野川市国際交流協会が開催している「日本語教室」の活動が、ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関して顕著な功績であると認められ、「とくしまユニバーサルデザインによるまちづくり賞」を受賞しました。

本表彰は、「街づくり（施設の整備）部門」「ものづくり（製品の製造）部門」「意識づくり（啓発活動等）部門」において、ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進について顕著な功績または功労のあった個人または団体を表彰するものです。同団体は、「意識づくり部門」において、受賞されました。

3月11日に徳島県庁で表彰式が開催され、同団体の萩森健治会長が表彰状を受け取りました。



△表彰状を手にする萩森会長（左）と酒池由幸徳島県副知事（右）



△左から楢山さん、川村さん、楢山さん、後藤さん

「ほのぼの工房」がとくしま集落再生表彰を受賞

3月28日、徳島県庁で令和3年度とくしま集落再生表彰の表彰式が行われ、本市からは、美郷地区で地域活性化に取り組む「ほのぼの工房」が受賞しました。

この表彰は、人口減少が進む徳島県内で、地域資源を活かした創意工夫ある活動に取り組み、地域の活性化に顕著な功績のある個人や団体を表彰するものです。

同団体は美郷地区で農家民宿や菓子工房を立ち上げ、地域の素材と人材を活かし、地区の活性化に貢献していることなどが評価されました。



100歳の誕生日おめでとうございます

3月8日、榎フミコさんが100歳の誕生日を迎えられました。榎さんは、山川町で6人姉妹の長女として生まれ、23歳で結婚し、2男1女を授かりました。32歳の時に夫の転勤で山口県へ転居し、50歳で山川町に戻ってきました。和裁や野菜・花を育てることを趣味とされています。平日はデイサービスで過ごされています。長生きの秘訣は、好き嫌いなく食べ、人とのふれあいを大切にすることだそうです。

ご家族に見守られながら笑顔で祝状を受け取られました。

ひろみ 榎フミコさん (山川町) 大正11年3月8日生まれ



つよししまこ 簡井志摩子さん (鴨島町) 大正11年3月18日生まれ

3月18日、簡井志摩子さんが100歳の誕生日を迎えられました。簡井さんは、鴨島町内原で2男5女の末っ子として生まれ、23歳で結婚して夫と神戸で暮らしていましたが、空襲に遭い帰郷しました。得意だった和裁を活かして着物関係の仕事をしなが家計を助け、2男1女を育てられました。花が好きな簡井さんは、たくさんの種類の花を育てられています。ひ孫たちの成長を楽しみに過ごされています。長生きの秘訣は、健康に気遣い大きな病気をしないことだそうです。

吉野川市内の100歳以上の長寿者は48人(女性43人 男性5人)になりました。

20歳～49歳の方へ 「ピロリ菌検査」を受けてみませんか？

胃がんとピロリ菌との関係

胃がんの発症には、ピロリ菌の感染と胃粘膜の萎縮が強く関連しています。胃がんになった方の95%以上はピロリ菌感染者といわれています。除菌をしないまま放置すると、10数年～20年程度で萎縮性胃炎に進行し、胃がんになる危険性が高まることが分かっています。ピロリ菌の感染の有無を検査し、陽性の場合は、ピロリ菌の除菌を行うことで胃炎は治り、将来的な胃がんの予防につながります。

ヘリコクター・ピロリ



対象者	20歳～49歳の方 ※対象年齢内に1回限り (昭和48年4月2日～平成15年4月1日生)		
検査内容	ヘリコクター・ピロリ抗体検査(血液検査) ※注:ヘリコクター・ピロリ抗体検査は、胃がんを発見する検査ではありません。		
実施方法 *集団健診にて実施します。	日程	場所	受付時間 午前8時30分～ 10時30分
	7月 2日(土)	吉野川市役所(東館)	
	9月 2日(金)	ふるさとセンター(美郷)	
	10月 1日(土)	吉野川市役所(東館)	
	10月 26日(水)	川島公民館	
	11月 2日(水)	鴨島公民館	
	11月 11日(金)	山川公民館	
12月 10日(土)	吉野川市役所(東館)		
※事前の申し込みが必要ですので、健診日の2週間前までに健康推進課(☎22-2268)へ申し込みください。			
自己負担金	1,100円		

●問い合わせ・申し込み 健康推進課 ☎22-2268 FAX22-2245

第72回 癒合歯

おしえて!! 歯医者さん

質問 1歳6カ月児健診で乳歯が1本少なく癒合歯があると言われ心配しています。詳しく教えてください。

回答 癒合歯とは本来1本ずつ生えるべき歯が何らかの原因で2本くっついて生えることで、乳歯の下の前歯に好発します。50人程度の乳幼児歯科健診をするとして2人の割合で見つかることが多く、頻度は乳歯で1/5、永久歯は稀で0.2/0.4%といわれています。原因は明らかではありませんが、胎児の時に隣り合う乳歯の卵が成長過程でくっついたまま発育したという説が一般的です。癒合歯自体に有害作用はありませんが、後継永久歯(次に生えてくる大人の歯)が影響を受けたり、生え変わりがスムーズにいかないことがあります。

癒合歯から生え変わる後継永久歯が正常に2本存在する割合と本数が不足する割合はともに40%、50%、残り約10%は永久歯も癒合歯といわれています。また、永久歯の数が正常であれば、かえって癒合歯の根が吸収されにくいことが多く、

生え変わりの時期になっても自然に抜けずに永久歯が順調に生えるのを妨げることがあります。乳歯に癒合歯が認められる場合は、永久歯に生え変わる定期的なレントゲン撮影から状態を確認し、永久歯の数や将来的な噛み合わせや歯並びのリスクを踏まえて経過観察します。癒合歯の根の吸収状態によっては適切な時期に抜歯をすることもあります。また、癒合歯はくっついた境目の溝にプラークがたまり易く、むし歯になりやすい傾向があります。シーラント(予防的にプラスチックで溝を埋める処置)や定期的なフッ素塗布と歯磨きのケアでむし歯を予防することも重要です。

お子さんの歯や口の中のこと、何か気になることがあれば、一度かかりつけ歯科医院でご相談ください。

吉野川市歯科医師会
お口の質問を募集しています。下記までメールまたはFAXでお寄せください。

●お口の質問について(窓口)●

市長公室 FAX 22-2244 メールアドレス m-koushitsu@yoshinogawa.i-tokushima.jp

地震の心得10カ条 第4条 火が出たらすぐ消火

地震の心得10カ条 第3条 戸を開けて出口を確保